

2024年11月11日

国内初！水上オートバイ航行支援アプリ

～安全航行、利便性を目的にヤマハ発動機と協業し JM-Safety に搭載～

日清紡ホールディングス株式会社は、水上オートバイ（PWC※）ユーザーの利便性向上、安全航行の支援などを目的に、ヤマハ発動機株式会社（以下、ヤマハ発動機）と協業し、当社の航行支援アプリ「JM-Safety(ジェイマリン・セーフティ)」に PWC 専用モードを追加しました。2024 年 11 月 11 日から国内初の PWC 航行支援アプリとして提供を開始し、「JM-Safety」のサービスを拡大いたします。

※PWCは、Personal Water Craft の略

「JM-Safety」は、海難事故の撲滅を目的とした当社が開発・運用するスマートフォンを活用した小型船舶向け航行支援サービスで、累計のアプリダウンロード数は 5 万を超えています。

今回提供する PWC 専用モードは、これまでの「JM-Safety」に、PWC に関する地域ごとの条例や規則、地図情報「PWC エキスパートガイドマップ」（一般社団法人日本マリン事業協会提供）を織り込んだシステムです。利用者は、あらかじめ自身のスマートフォンにインストールした「JM-Safety」を PWC 専用モードに切り替えることで、PWC 航行に必要な利用海域の特徴や自船の位置情報などをスマートフォン上で確認できます。また、自船位置と連動し、航行禁止エリア進入時や速度超過時にはアラームが鳴る「ロケーションアラート」機能を備えています。これにより、PWC ユーザーの安全航行を支援し、航行ルールの理解促進に繋がることを期待しています。

PWC 専用モードは、まずは関東エリアおよび関西エリアの 2 カ所のエリアにて運用を開始します。以降、対応エリアを順次拡大していきます。



左) PWC 専用モードでのロケーションアラート機能 (イメージ) 右) 利用イメージ ※画面は嵌め込み合成

【開発背景】

PWC は、スピード感を味わうことができる日本でも人気のマリレジャーですが、航行禁止エリアや速度規制区域などには標識やブイがほとんど設置されていません。また地域ごとにさまざまな条例や規制が設けられているため、ユーザーにとって規制が分かりにくくなっており、過去には実際に事故も起き、安全性の確保が社会課題となっています。今回、条例や規制をより分かりやすく「JM-Safety」の地図上に示すことで、ユーザーの利便性や運転マナーの向上、トラブルや事故を未然に防ぐことを期待するものです。

【ロケーションアラート機能詳細】

■進入禁止判定

航行禁止設定されたエリアに PWC が進入すると、警告音とプッシュ通知、またバイブレーション機能（実装予定）で利用者に注意を促します。進入後は、そのエリアから離脱するまで警告は続き、ユーザー操作による停止は出来ません。

■速度超過判定

徐行が設定されたエリアに PWC が進入し、制限速度を超えている時に、警告音とプッシュ通知、またバイブレーション機能（実装予定）で利用者に注意を促します。徐行エリアに進入しても、制限速度以下で航行している時には、警報は発生しません。

【PWC 専用モード利用方法】

- ① 「JM-Safety」アプリをダウンロード
- ② PWC 専用モード登録用の 2 次元バーコードを読み取る
- ③ 「JM-Safety」アプリに遷移し、“所属登録”画面にて「PWC」登録を行う
※上記の登録作業は初回のみ
- ④ 出港時に「JM-Safety」アプリを起動し、「船どこ」画面下部の通信ボタンをタッチ
※帰港時には再度、通信ボタンをタッチし、通信終了とする

【「JM-Safety」アプリ】



【PWC 専用モード登録用 2 次元バーコード】



※ Apple、Apple のロゴは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

※ Google Play、Google Play ロゴ、Android は Google LLC の商標または登録商標です。